

耳公民館だより



第71号 令和7年7月



(アサガオ：耳地区各所)

梅雨があったのか、なかったのか、ふりかえる間もなく猛暑がやってきました。アサガオは耐暑性が強いと言われる夏の花ですが、午後にはしぼみ始めます。そして暗くなってから8～10時間後の早朝に咲くそうです。まるでゆっくり休養の時間をとっているみたいですね。わたしたちも、次の日のためにしっかり休んで夏を乗り切りたいものです。

耳地区(第1回)モルック大会 6/29(日)

耳地区スポーツ協会・耳公民館

佐柿国吉会館で70才代から小学4年生まで28名(10チーム)の参加のもと開催。

どの試合も笑顔があふれ、参加者が互いに協力し合い、競技・運営両面での交流大会となりました。



- 1位 源左衛門(大人2名、小学生1名)
- 2位 こうちゃんマン(大人1名、小学生1名)
- 3位 黄組(小学生3名)

池田義治さん(東山) 折り紙作品展

運営委員さんから「池田さんのおうちに、折り紙がいっぱいあるよ」という情報をいただき、さっそくお願いして作品の一部をお借りしました。
公民館のろうかで展示しています。



玄関にはたくさんの折り紙が

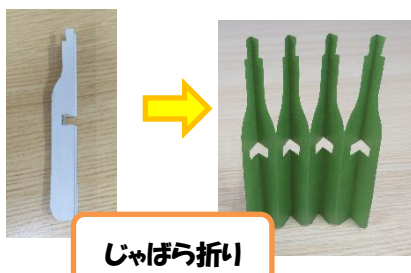
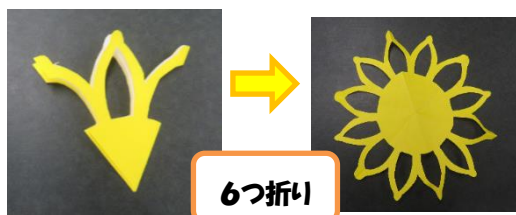
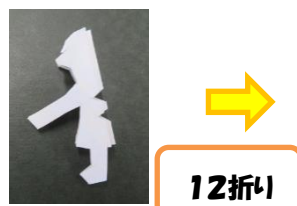
“地域の芸術家”
きっとまだまだ…



立ち寄り型講座「ふらっと」ニュース

⑧ 開くと楽しい切り紙

色紙を何回か折って、切って、開いてみると
美しい自分だけの作品ができあがります



あなたはどうか
切りますか？



夏の夜空に思いをはせる 星空観察会



① 7月28日(月) 夜 7:30～・三日月、火星

② 8月19日(火) 早朝 4:00～・金星(明けの明星)、木星

※雨天、曇天の場合は中止します

申し込み〆切 ①7/26(土) ②8/14(木)
耳公民館まで ☎32-0027

館長のつぶやき

折る

折り紙はもちろんですが、今回の「切り紙」もていねいに折らないと、思ったとおりの出来ばえにはなりません。三つ折りはまだいいですが、六つ折り、十二折りが増えていくとなかなか大変です。

紙をつくる技術は大陸から伝わってきたようですが、日本独特の紙を折る文化は、うすくて丈夫な和紙を使って供え物や贈り物を美しく包む「儀礼折り」から発展してきました。

折ることは「たたむ」とも関連があり、暮らしの中でふとんをきれいにたたむ、和服をたたんで片づけるなど、生活習慣の基本となっていました。和室に敷き詰められた畳も元は薄い敷物のことで、使わないときはきちんと「たたむ」が語源です。

「折り目正しい」という言葉にもあるようにきれいに折ってたたむ日本人の感性は、四角い水田と田んぼ道が整然とならぶ原風景や、真つすぐな柱や床板で建てられる伝統建築などの生活環境から生まれたと言われます。

さて話を切り紙にもどしますが、ずれがないように気をつけながら何回かていねいに紙を折って、折り終わったら今度はハサミであちこちを切り落とします。そつと広げてもう少しここをと思えば、折りもどして切ることもできます。

公民館事業も新企画だけではなく、今までのものに「もうひと折り、あとひと切り」加える発想も大切ですね。ただ、折り方が簡単そうに見える「じゃばら折り」は要注意です。「山あり谷あり」のくり返しですから。